

東南アジアの自然と農業研究会

第77回研究会ご案内

寒さもまだまだ厳しい折り、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、京都大学農学部熱帯農学専攻の 及川 洋征 氏に下記のようにご報告していただきます。年度末のお忙しい時期かと存じますが、皆様の多数のご参会をお待ちしております。

記

日 時 : 1997年2月28日(金) 16:00~18:00
会 場 : 東南アジア研究センター 東棟2階第一教室
京都市左京区下阿達町46
川端通り荒神橋東詰め
話題提供者 : 及川 洋征 氏
話 題 : 南カリマンタン丘陵地のジャワ人集落における混合樹園地(Mixed garden)の造成

(要旨)

インドネシアのジャワ島ではプカランガン(屋敷地樹園地)に代表される混合樹園地(Mixed garden)が発達し、ココヤシなどの果樹類を中心に多様な木本・草本類が栽培され、ジャワ島の農村景観を特徴づけている。

ところで、異なる自然・社会経済環境下にある外島に移住したジャワ農民の集落にも同様の樹園地景観が見られるのだろうか。本報告では、南カリマンタンの丘陵地に拓かれたジャワ人集落を例に、混合樹園地造成の過程と要因を考察する。本集落では、開墾時から今日まで、混・間作によってドリアン・ランブタンなど果樹中心の混合樹園地が造成されてきた。農民は特定の商品作物に特化することなく、さまざまな作物を自家消費も兼ねて栽培している。

また、このような混合樹園地の造成を通してジャワ農民の生活観も論じてみたい。

問い合わせ先：京都大学農学部熱帯農学専攻
柳沢 雅之(Tel 075-753-6374)
京都大学東南アジア研究センター
田中耕司 (Tel 075-753-7307)